

HDS022-11

会場: 201B

時間: 5月26日14:45-15:00

ブータンヒマラヤの氷河湖湖盆地形

Bathymetric topography of glacial lake in Bhutan Himalaya

小森 次郎^{1*}, プンツォ・ツェリン², 竹中修平³, カルカ・シン・ギャレイ²

Jiro Komori^{1*}, Phuntsho Tshering², Shuhei Takenaka³, Kharka Singh Ghallay²

¹名古屋大学大学院環境学研究科, ²ブータン国経済省地質鉱山局, ³地球システム科学株式会社

¹Environmental Studies, Nagoya Univ., ²Dept. of Geology and Mines, Bhutan, ³Easth System Science Co.

氷河湖決壊の発生可能性の評価には堤体の形状の情報が欠かせない。また、決壊後の水害ポテンシャルの評価には湖水量等の情報が欠かせない。これまで多くの場合、周囲の地形から堤体の形状や湖水量が予想されていた。本研究ではブータン国中北部マンデチュー上流域で湖水深測定を行った。その結果、これまで報告されている上流側の最深部と湖尻側の浅い水深という特徴が確認された。さらに、沈水した敷居状の地形がいくつかの湖で認められた。周囲の地形から判断してこれはモレーンと考えられる。発表では湖水深調査によって明らかになったこれらの湖底地形の特徴、および湖底地形を含めた氷河湖の形状分類について報告する。

キーワード: 氷河湖決壊洪水, 氷河地形, 現地調査, 音波測深, 災害評価, 地球温暖化

Keywords: GLOFs, glacial topography, field survey, acoustic sounding, hazard assessment, global warming